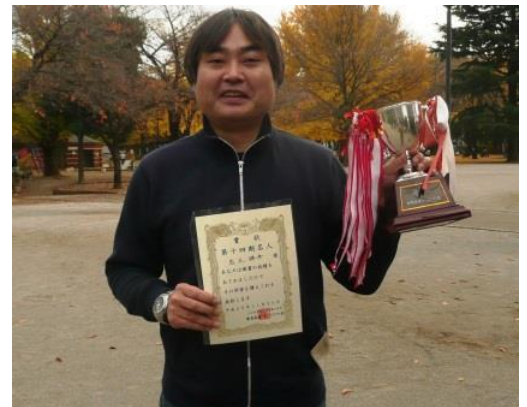


# 岩坊が名人とったぞ〜!

苦節 10 年、岩坊がついに初タイトルを獲得した。秋も深まり、木々の紅葉が真っ盛りの 11 月 30 日(日)板橋平和公園でその瞬間は訪れた。息子のタイキローはとっくにタイトル保持者だが、岩坊の春は待ち遠しかった。会への貢献度が誰よりも高いことはみんなが知っている。だから、早くタイトルを取って欲しいと、みんなが願っていたのだ。しかも、初タイトルが『名人』だ。偶然では取れない、実力が最も問われるビッグタイトルなのだ。



岩坊 おめでとう!

## 巴戦最終キップはダーリンが獲得したが・・・

名人戦ファイナル巴戦三人目の出場者をかけ、上位 8 名によるトーナメントが行われた。その戦いで予選 7 位のダーリンが、ギャオス、平井おやぢ、ルパンを退け、最終キップを手にした。念願の名人に一步近づきやれやれという心境だったろう。去年は予選一位通過を果たしたものの、巴戦でわずか 1 勝にとどまり、涙を呑んだだけに、「今年こそ」の思いは誰よりも強かったに違いない。相手は現名人永世ハルクと、予選一位通過の岩坊だ。



## 実力拮抗の巴戦、抜け出したのは岩坊

まずは、ハルクがダーリンを破り 1 勝挙げると、岩坊がハルクを飛ばす。すると今度はダーリンが岩坊を弾き出す。巴戦ならではの一进一退の攻防が繰り広げられる。先に 4 勝を挙げ早くリーチをかけたいが、そうは間屋がおろさないのが名人戦だ。その中で真っ先にリーチをかけたのは何と岩坊ではないか。岩坊初優勝の期待に会場がざわつくが、プレッシャーをかけたくない観衆は、固唾を呑んで戦況を見守る。すると、さすがに永世ハルクだ。すかさずこちらも 4 勝目を挙げ岩坊にプレッシャーをかける。いつもならこのあたりで手元がおぼつかなくなる岩坊だが、この日は違っていた。ダーリンがハルクを破り 3 勝目を挙げると、そのダーリンに対し、少しもあわてずベーを投げ入れる。すると次の瞬間、パチーン! ダーリンベーをもの見事に飛ばしたではないか。『やったー』と仁王立ちの岩坊、ダーリン、ハルクと握手を交わし、満面の笑みで勝利の喜びをかみしめた。おめでとう岩坊、あなたは第十四期名人だ。





# ペアはかずひろ&ちかパパが初

こちらもうれしい初優勝だ。かずひろ・ちかパパペアが、絶妙のコンビネーションで、第十二期ペアマッチ戦を制した。予選上位 12 名 6 組の総当たり戦による決勝戦は、1 周目を終わりつぐみ・マーサ戸川ペアが勝点 8 で一步リードし、次いでジョージ・鉄人後藤ペア、かずひろ・ちかパパペアが勝点 6 で続き、だいち・岡ちゃんペア、マックス・まみいペアが勝点 4、平井おやぢ・中Gペアは相性悪く勝点 3 で出遅れる。しかし、2 周目に入りつぐみ・戸川ペアがつまづくと、かずひろ・ちかパパペアが、怒涛の 4 連勝で一気に追い抜き、見事第十二期ペアマッチ戦王者となった。追われるのはつらいねえ戸川さん。かずひろが角付けで弾き出しをねらい、ちかパパが真ん中ドンでリキ勝ちに持ち込む。この首尾一貫した戦法が功を制したようだ。即席のペアだけど、気が合ってたんだね。これで二人はグラチャンの出場権も得た。目指すは 2014 年グランドチャンピオンだ。



ちかパパ、かずひろ おめでとう！



# マックス 2014 有終の美を飾る

2014 年はまさにマックスの年だった。チーム王戦を皮切りに、すべてのタイトル戦の決勝に顔をだし、その内 3 回の優勝というのだからあっぱれだ。

今年最後の戦いとなった 12 月 14 日（日）、練馬区立電車の見える公園の上空には、青空が広がっていた。マックスはこの日も予選から快調に飛ばす。一次予選を終え勝点 12.5 の 4 位につけると、二次予選でさらに勝点を伸ばし、トップと 1 点差の 3 位につける。しかも、予選で一度も負けがないというのだから恐れ入る。そして、決勝トーナメントに入ってもこの勢いは止まらなかった。この日決勝に駒を進めたのは、鉄人後藤、ほん魂六角、マックス吉岡、イッサ望月、ダーリン立川、ゲンタ、いっとく、ちかパパ、まみい、岡ちゃん、マッチ、奥田パパ、ハルク、るなちゃん、かずひろ、つぐみの 16 名だ。この中から今年最後のチャンピオンが生まれる。

## まみい、マックスを追いつめるも届かず

ここでタイトルを逃すと、まだ無冠の場合はグラチャンへの道が閉ざされる。必死の戦いだ。しかし、あの鉄人後藤でさえ宿敵つぐみに敗れ



マックス、いっとく、まみい おめでとう！





ると、昨年バロンドールのハルクも、イッサの前に一敗地にまみえ、次々に討ち死にする。過酷な戦いなのだ。その中でスイスイと勝ち上がっていったのは伏兵まみいだ。ちかパパ、つぐみを破りベスト4となると、この日好調のイッサも退け、決勝戦へと勝ち上がる。一方、絶好調のマックスは、決勝に入ってもるなちゃん、マッチ、いっとくをストレートで破り、無敗のまま3冠に挑む。両者ゆずらない戦いとなった。

決勝は3本先取で勝ちとなるが、多少のプレッシャーがあったか、両者床外しで1勝ずつとなる。マックス今日初めての負けだ。それが精神的に響いたのか、ここでまみいに飛ばされ2対1、まみい優勝の期待とともに、いきなり崖っぷちに追い込まれる。しかし、ここからがマックスの本領発揮だ。手が狂いリキが甘くなったまみいベーを、すかさず飛ばし2対2のタイに持ち込むと、気分も戻りその勢いで3本目を連取する。情け容赦のない攻撃だ。勝負師マックス。にこやかな顔の裏側に、おんな子どもといえども手を抜かない、人間が本来持つ野生の獐猛さを秘めているに違いない。

しかし、マックスの独走を許した我々にも責任の一端がある。あまりにもふがいなかったのだ。年が変われば流れも変わる。マックスの独走をこのままにしておいてはならない。打倒マックス！みんなの奮起に期待しよう。

## 子ども王はいっとく、女流王はまみい

予選7位と気を吐いたいっとくが、決勝トーナメントでも岡ちゃん、ほん魂六角を破り、ベスト4となる大活躍だ。もともと実力はある。だけど、まだ小さいので無理もないが、気持ちにムラがあるため、なかなかその実力を発揮できないでいたのだ。やればできるぞ、いっとく。おめでとう。

女流王は惜しくもタイトルを逃したまみいだ。取ればベー王に続き二度目のタイトルだったが、あと一步届かなかった。『暗くなってきたから、早く終わらなきゃと思って、どっちでもよくなっちゃったからかな』勝負への執念がマックスとの差だった。

### ガチホンコは11月ギャオス、12月はハルク

久しぶりにギャオスとハルクがガチホンで全部取りだ。寺子屋で子どもにあげるベーがたくさん取れてよかった、よかった。たまにはこういうこともないかね。

## 2014 バロンドールはマックス

年間最優秀選手賞はマックスの頭上に輝いた。既報の通り、最終戦も取ったマックスが、2位に15ポイントの差をつけ、圧倒的大差での受賞だ。充実した年を終えたマックスの心境は、いかばかりであろうか。正にわが世の春、といったところだろう。おめでとうマックス、あなたは2014年もっとも輝いたチャンピオンです。



### 第十五期名人戦参加者を募集します

岩坊悲願の初優勝で幕を閉じた第十四期名人戦に続き、第十五期名人戦の参加者を募集します。受付は1月の月例会で、2月より総当たりの予選を行い、ファイナルは11月の決勝巴戦です。迎え撃つは現名人の岩坊、予選1位通過者は巴戦への出場権を得ます。使えるベーはNIBベー4種類、のつけなし、重さは35gまでです。どしどしご応募ください。